



サポートJOYO



京都府立城陽養護学校地域支援センターだより

平成21年度
研修会特別号

＜相談問い合わせ先＞ 京都府立城陽養護学校 地域支援センター「サポートJOYO」

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4 TEL 0774-53-7100 FAX0774-53-4044

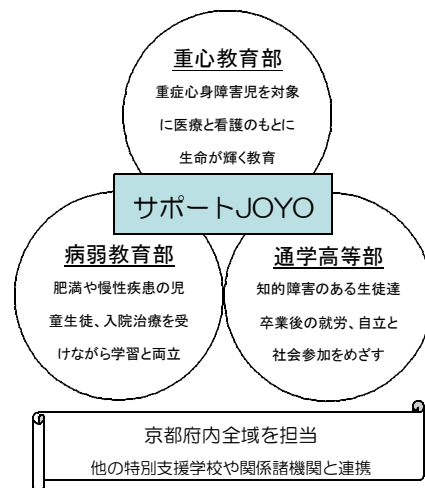
(E-mail jyouyou-s@kyoto-be.ne.jp)

「サポートJOYO」をよろしく！

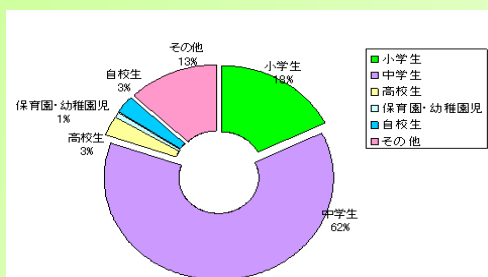
京都府立城陽養護学校 地域支援センター「サポートJOYO」
も開設3年目を迎えることとなりました。

昨年1年間で、地域のみなさんから寄せられた相談は、知的障害や発達障害のある子ども達の就・修学や進路に関わる相談、心身の病気や不登校・不適応に関わる相談など、約450件あまりにのぼりました。

昨年度の実施状況

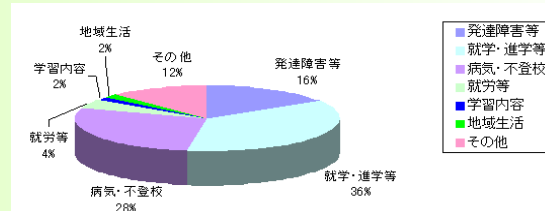


(1) 新規相談希望者の内訳



新規相談希望者の内訳は、中学生84件(62%)、小学生24件(18%)となっている。

(2) 主たる新規相談の内容について



就学・進学63件(36%)、次いで病気・不登校49件(28%)、発達障害等28件(16%)であった。不登校については25件の相談があった。

相談・支援依頼の傾向

～本校に寄せられた地域からのニーズをまとめると～

知的障害や発達障害のある子ども
の就学や進路に関わる相談

不登校や不適応に関わる相談

「サポートJOYO」に寄せられた
地域からのニーズ

発達障害への対応に関わる相談

医療的ケア、病院医療との連携
に関わる相談

相談・支援の具体的事例

主 訴	中学1年生徒。不登校に対する手だてと家族の関わりについて
実態	6年1学期の終わり頃から「学校に行くのがしんどい」と言い始め、学校に行きにくくなった。中学入学後4、5月は楽しく登校できたが、自信があったはずの中間テストの成績が悪く、そのことがきっかけで6月頃から朝起きられなくなり不登校になる。病院を受診し『起立性調整障害』と診断を受ける。母親は本人の気持ちに寄り添いたい父親・祖母に理解してもらえず、うまく調整できない。との訴え。
支援の経過	電話相談から始め、週1回の定期来校相談で継続中
相談支援の内容	・少しでも安らげる家庭へ →祖母も一緒に来校され 協力してもらうよう依頼。祖母から父への働きかけをされた。 ・ゆっくり休む期間を設ける →寝起きが良くなり、父とも穏やかにしゃべれる時も出てきた。 夏休み前に数日登校できる。 <母親へのアドバイス> ・不理解な家族への働きかけや接し方 ・母の本児への接し方や気持ちの持ち方 ・本児の状態や現状に対しての捉え方 →1週間の様子を聞く中で、母の本児への接し方を振り返り、ほめるようにした。
経過	・2学期は、2週間に1日程度のペースで登校。 ・3学期、全部ではないが1週間遅れで冬休みの宿題をやり終え、クラスの友達と待ち合わせをして週2、3日登校できるようになった。

平成20年度 講師派遣・研修協力

	主 な 内 容
教育委員会主催 の研修会	・特別支援教育の基本的な視点について ・地域との連携支援の実際 ・自立支援、就労支援について 等
小中学校の 校内研修会	・応用行動分析に基づく指導のあり方 ・ソーシャルトレーニングの実際 ・大きな課題を有する児童生徒の支援のあり方 等
教育研究会	・シンボルコミュニケーションの活用について



今年度1学期の相談の傾向

年度当初より、不登校・発達障害、また就学・進路に関する相談がありました。保護者から直接相談を受けることも多くなっています。

6月まで、すでに相談件数は200件近くに及んでいます。学校や適応指導教室への巡回相談や、研修会の支援も行っています。

平成21年度 事例支援研修会

【日 時】 平成21年 11月12日（木） 15:30～17:00
 【会 場】 本校会議室
 【テーマ（仮）】 不登校の子どもへのかかわりについて
 【講 師】 臨床心理士
 「サポートJOYO」巡回相談員 今野 芳子 氏



ぜひご参加ください。

